

九鬼嘉隆が命を絶った場所

1598 年に豊臣秀吉が死去すると、豊臣家忠臣からなる西軍と徳川家康を支持する東軍の対立が起きました。歴史学者たちは、家の存続の為、九鬼家の父と息子は双方に分かれて戦ったと考えています。嘉隆は西軍に加わり、息子の守隆は家康方につきました。最終的に勝利をおさめたのは徳川の軍勢でした。

嘉隆は鳥羽城から近くの答志島に逃れました。新しい将軍に父親の命乞いをした守隆の嘆願は聞き入れられたものの、その知らせを聞く前に嘉隆は洞泉庵の境内で切腹（割腹による儀式的な自害）しました。

嘉隆の遺体は答志島にある二つの塚に埋葬されています。体は嘉隆が亡くなった場所の近くにある丘のふもとの胴塚に埋葬されています。頭部はその丘の上の鳥羽城跡と鳥羽湾を見晴らす首塚に埋葬されています。